

科目名: <b>税理士のための財務諸表論Ⅳ</b>		科目コード	EJ29
科目主査: <b>齊藤 聡</b>		単位	2
担当講師: <b>宮地 昌之、依田 朗裕</b>		配当年次	3・4
授業の目的と概要	グループワーク: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	個人ワーク: <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	カメラ・マイクの必要性: <input type="checkbox"/> 必須 <input checked="" type="checkbox"/> 望ましい <input type="checkbox"/> 不要
<p>本科目の目的は、財務諸表論を学習し、企業の財務データを分析し、理解する力を身に付けることです。また、財務諸表を作成する基礎知識を得ることです。財務諸表論は、範囲が広く膨大な学習が必要となります。EJ26～EJ30(税理士のための財務諸表論Ⅰ～Ⅴ)を学習することで、全範囲の基礎学習が完結します。簿記の基礎知識が必要のため、「税理士のための簿記論」と同時に履修するが、「税理士のための簿記論」を先に履修することを推奨します。*EJ28(税理士のための財務諸表論Ⅲ)からの継続授業となります。税理士になるために、大学院への進学も勧めています。</p>			
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名:	
履修の前提となる知識 その他特記事項	事前にテキストを熟読し、重要点や分からない点・理解に自信のない点についてマーキングし、質問ができるようしておきましょう。		
テキスト	『税理士 財務諸表論の教科書&問題集(4)』TAC税理士講座(編),TAC出版		
この科目の到達目標	<p>① 財務諸表を作成することができ、財務諸表を分析して、企業の問題点を把握し、その解決策を策定することができる。</p> <p>② 企業会計において、経営者の相談にのり、財務面からの経営支援のアドバイスができる。*EJ26～EJ30(税理士のための財務諸表論Ⅰ～Ⅴ)全体としての到達目標となる。</p>		
成績評価の方法	授業への参画度が重要になります。出席、提出物、試験で成績評価をします。		
事後学習	授業中に取り上げられる会計処理は限られます。新聞、情報、ネットを利用して最新情報にあたりましょう。		
事後学習の参考文献	<p>『新版 会計法規集[第11版]』中央経済社,2019年</p> <p>『税理士 財務諸表論 理論答案の書き方 第5版』TAC税理士講座(編),TAC出版</p> <p>『税理士 財務諸表論 計算問題の書き方 第5版』TAC税理士講座(編),TAC出版</p>		
スクーリング受講時に用意するもの	<input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具 <input checked="" type="checkbox"/> 電卓(大きめが望ましい)		